

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年11月24日

計画の名称	誰もが安全・安心に利用できる都市公園施設の整備（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	白山市												
計画の目標	誰もが安全な施設で安心して利用できる公園とするため、また、地域の一次避難場所として、長寿命化計画や遊具の定期点検に基づいた公園施設の改修、更新を行い公園利用者及び避難者の安全を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	169	A	155	B	0	C	14	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	8.28	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	長寿命化計画や定期点検に基づく適切な改修、更新を行うことで、安全・安心に利用できる都市公園を維持する。 公園施設長寿命化計画に基づき、改築・更新した公園施設（遊具等）の割合の増加	24%	35%	50%
2	公園施設及び遊具を計画的に整備しライフサイクルコストの縮減を図る。 公園施設長寿命化計画に基づき、改築・更新した公園施設（遊具等）の割合の増加	24%	35%	50%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
白山市長寿命化計画に基づき実施される要素事業：A12-001、A12-002												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	白山市	直接	白山市	-	-	白山市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化対策(千代野中央公園等22公園における遊戯施設の改築)長寿命化計画(30公園)	白山市						125		策定済	
	A12-002	公園	一般	白山市	直接	白山市	-	-	白山市都市公園安全・安心対策事業(5か年老朽)	健全度D判定等の緊要な対応が必要な公園施設の改築 N=4公園	白山市						30		策定済	
												小計						155		
												合計							155	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	白山市	直接	白山市	-	-	白山市公園施設整備・更新事業	駐車場等公園施設の整備（都市公園）公園遊具・施設の改修、更新（市民公園等）	白山市						14		策定済	
		都市公園施設の長寿命化対策に合わせ、必要となる都市公園施設の整備や都市公園を補完するその他の小規模公園（市民公園）の施設を併せて改修・更新することにより、市民の安全・安心の充実を図る。																		
												小計						14		
											合計						14			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
白山市において評価を実施	R4
	公表の方法
	白山市HPで公開
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>目標50%に対し、34%達成した。 危険な状態の遊具は使用禁止とし、利用者の安全安心は確保した。 今回計画で対応できなかった分については次計画で優先して対応する。 目標と実績の差については、計画と並行して実施した定期点検により、緊急措置が必要な案件が発生したため、予算のすべてを計画に回せなかった。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<p>更新に当たっては、材料は従前の素材にこだわらず、過大にならない程度に耐久性の見込める材料を採用し、耐用年数の延伸を図った。 駐車場舗装の不具合を改善したことにより避難地としての機能の向上に寄与した。</p>
特記事項（今後の方針等）	
<p>今後も、長寿命化計画及び年次点検に基づき、遊具等を更新することで市民が常に遊具等を安全安心に利用できるように努める。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	目標値と実績値に差が出た要因
1	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
	最終目標値	50%
	最終実績値	34%
公園施設長寿命化計画に基づき、改築・更新した公園施設（遊具等）の割合の増加（%）		
計画で見込んだ修繕方法が適用できず、大掛かりな更新が必要となったため、実績値が下がった。目標値との差については、次年度以降に優先して対応する。		
2	最終目標値	50%
	最終実績値	34%
	公園施設長寿命化計画に基づき、改築・更新した公園施設（遊具等）の割合の増加（%）	
計画で見込んだ修繕方法が適用できず、大掛かりな更新が必要となったため、実績値が下がった。目標値との差については、次年度以降に優先して対応する。		